

履 修 計 画 表 (2022年度3年生用)

学科

学籍番号

氏名

学年別取得単位数

		必修		必修 選択		選択
		共通	専門	共通	専門	
1年	計画					
	実績					
2年	計画					
	実績					
3年	計画					
	実績					
4年	計画					
	実績					
スポ科		20	23	14	34	33
マネ科		20	18	18	26	42
健康		20	22	14	28	40

卒業所要単位：124単位

「選択」はこの表に記載されている全科目が対象となります。但し、単位の分割はできません。

スポーツ科学科で特別支援学校の免許状を取得する場合、並びにスポーツマネジメント学科で教職免許状を取得しようとする場合は、それぞれ条件がありますので注意して下さい。

通：通年科目
無印：半期科目
集：集中科目

必要単位は配当学年内で履修することを原則とします。一印

←→印は、その間の学年で履修すればよい科目です。

※印は3学年、4学年と継続して履修する科目です。

▼印は閉講科目です。

三学科共通開講科目

	配当学年 → 単位数 ↓	1年	2年	3年	4年	備 考		
		スポーツ健康科学総論 キャリアデザイン 文章表現法 ゼミナール(含卒業論文)	通4 2 2 8	— — — —	— — — —		— — — —	— — — —
外国語科目	Oral English I Oral English II	通2 通2	— —	— —	— —	— —	必修 4単位	
	Introduction to TOEFL I * Introduction to TOEFL II * TOEFL・IELTS I * TOEFL・IELTS II * Basic English Conversation I * Basic English Conversation II *	1 1 1 1 1 1	— — — — — —	— — — — — —	— — — — — —	— — — — — —	選択必修 スポーツ科学科 4単位 スポーツマネジメント学科 4単位 健康学科 4単位	
	Advanced English for Global Oral Communication Advanced English for Global Written Communication	通2 通2	— —	— —	— —	— —	— —	
	ドイツ語 I ドイツ語 II フランス語 I フランス語 II	1 1 1 1	← ← ← ←	— — — —	— — — —	→ → → →	— — — —	
	三学科共通開講科目 一般教育科目	基礎の数学 力学の基礎 一般化学 細胞の生物学 統計学	2 2 2 2 2	← ← ← ← ←	→ → → → →	— — — — —	— — — — —	選択必修 スポーツ科学科 6単位 スポーツマネジメント学科 4単位 健康学科 6単位
		心とからだの哲学 社会学 心理学 経済学 日本国憲法	2 2 2 2 2	← ← ← ← ←	— — — — —	— — — — —	→ → → → →	選択必修 スポーツ科学科 4単位 スポーツマネジメント学科 6単位 健康学科 4単位
		新しい世界を拓いた人々 現代物理の基礎 歴史学 日本文学 国際関係論 音楽 美術 法学	2 2 2 2 2 2 2 2	← ← ← ← ← ← ← ←	— — — — — — — —	— — — — — — — —	→ → → → → → → →	選択 — — — — — — — —
		陸上運動 水泳 器械運動 ダンス 柔道 I・剣道 I 柔道 II 剣道 II サッカー	1 1 1 1 1 1 1 1	— — — — — — — —	— — — — — — — —	— — — — — — — —	— — — — — — — —	選択必修 スポーツマネジメント学科 4単位
		バスケットボール ハンドボール バレーボール テニス ソフトボール 体づくり運動 エアロビックダンスエクササイズ レクリエーションスポーツ キャンプ スキー 海浜実習	1 1 1 1 1 1 1 1 集1 集1 集1	— — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — —

「国際関係論」は放送大学「現代の国際政治」の互換科目

*の英語は海外英語研修プログラムの単位取得により2単位を上限とし、単位互換が認められます。

スポーツマネジメント学科開講科目

	配当学年 →		1年	2年	3年	4年		
	単位数	↓						
マネジメント総論	2	—					必修 18単位	
スポーツマネジメント論	2	—						
マーケティングの基礎	2	—						
スポーツマーケティング論	2	—						
経営組織論	2	—						
社会心理学	2	—						
メディア概論	2	—						
スポーツ社会学	2	—						
生涯スポーツ論	2	—						
経営学	2	—					選択必修 22単位	
組織開発論	2	—						
スポーツビジネス論	2	—						
イベント概論	2	—						
スポーツイベントの企画運営	2	—						
スポーツマネジメント特別講義	2	—						
財務管理論	2	—						
広告論	2	—						
スポーツ施設マネジメント	2	—						
スポーツボランティア	2	—						
メディア経営論	2	—						
マスコミュニケーション論	2	—						
情報ネットワーク社会論	2	—						
スポーツジャーナリズム論	2	—						
余暇社会論	2	—						
スポーツビジネスコントラクト▼	2	—						
スポーツコンテンツ制作演習▼	2	—						
スポーツ行財政論	2	—						
スポーツ政策論	2	—						
スポーツと法	2	—						
コンピュータ実習	2	—						選択必修 4単位
スポーツマーケティング実習▼	2	—						
スポーツイベントの企画運営実習	1	—						
スポーツマネジメント・インターンシップ	集2	—						
組織開発実習	集1	—					選択必修 2単位	
スポーツの調査研究演習	2	—						
スポーツ心理学	2	—					選択	
スポーツ運動学	2	—						
生理学	2	—						
衛生・公衆衛生学総論	2	—						
運動生理学 I	2	—						
学校体育経営管理学	2	—						

スポーツマネジメント学科開講科目

健康学科開講科目

	配当学年 →		1年	2年	3年	4年	
	単位数	↓					
衛生・公衆衛生学総論	2	—					必修 18単位
医学概論	2	—					
健康学概論	2	—					
社会福祉論 I	2	—					
精神保健学 I	2	—					
健康運動指導論	2	—					
臨床心理学	2	—					
健康教育学	2	—					
障害者教育総論	2	—					
健康統計学	2	—					選択必修 22単位
免疫学概論	2	—					
精神医学 I	2	—					
生涯健康論	2	—					
学校保健学	2	—					
健康栄養論	2	—					
生理学	2	—					
機能解剖学	2	—					
発育発達	2	—					
看護の基礎▼	2	—					
健康学実習	2	—					
知的障害者の心理	2	—					
肢体不自由者の心理	2	—					
病弱者の看護	2	—					
障害者の病理と生理	2	—					
障害者の進路支援	2	—					
知的障害者指導法	2	—					
肢体不自由者指導法	2	—					
病弱者指導法	2	—					
視覚障害者の教育	2	—					
聴覚障害者の教育	2	—					
発達障害と重度・重複障害者の教育	2	—					
養護概説▼	2	—					
看護学概説▼	2	—					
看護学基礎演習	2	—					
看護学実習	2	—					
精神医学 II	2	—					
精神保健学 II	2	—					
障害者福祉論	2	—					
精神保健福祉制度論	通4	—					
精神保健福祉援助技術総論	2	—					
ソーシャルワーク論	2	—					
ソーシャルワーク演習	1	—					
リハビリテーション概論	2	—					
地域福祉論 I	2	—					
地域福祉論 II	2	—					
社会保障論 I	2	—					
社会保障論 II	2	—					
公的扶助論	2	—					
社会福祉論 II	2	—					
運動生理学 I	2	—					
スポーツ医学 (内科系)	2	—					
スポーツ医学 (運動器系)	2	—					
精神保健福祉論	2	—					
精神保健福祉援助技術各論	通4	—					
精神保健福祉援助演習	2	—					
精神科リハビリテーション学	通4	—					
保健医療サービス	2	—					
権利擁護と成年後見制度	2	—					
福祉行財政と福祉計画	2	—					
環境衛生学	2	—					
労働基準法	2	—					
精神保健福祉援助実習	4	—					
精神保健福祉援助実習指導 I	1	—					
精神保健福祉援助実習指導 II	1	—					
精神保健福祉援助実習指導 III	1	—					
健康運動指導実習	2	—					
環境衛生学実習	2	—					
陸上運動	1	—					必修 4単位
水泳	1	—					
器械運動	1	—					
ダンス	1	—					選択必修 2単位
柔道 I・剣道 I	1	—					
柔道 II	1	—					
剣道 II	1	—					選択必修 2単位
サッカー	1	—					
バスケットボール	1	—					
ハンドボール	1	—					
バレーボール	1	—					選択必修 2単位
テニス	1	—					
ソフトボール	1	—					選択必修 2単位
体づくり運動	1	—					
エアロビックダンスエクササイズ	1	—					
レクリエーションスポーツ	1	—					
キャンプ	集1	—					
スキー	集1	—					
海浜実習	集1	—					選択
スポーツ外傷・障害学	2	—					
スポーツ社会学	2	—					
保健体育科教育法 I	2	—					
保健体育科教育法 II	2	—					
保健体育科教育法 III	2	—					
保健体育科教育法 IV	2	—					
学校体育経営管理学	2	—					
コンピュータ実習	2	—					
特別支援教育論	2	—					
健康相談	2	—					
体育原理	2	—					
道徳の理論及び指導法	2	—					
特別活動の指導法	2	—					

資格取得に関する科目 (1) (2022年度3年生用)

「中・高保健体育1種免許」

教育の基礎的理解に関する科目等 (保健体育)
(29単位必修)

教科及び教科の指導法に関する科目 (保健体育)
(31単位必修)

ここに記載されている科目は「保健体育」の教職免許状を取得するために履修しなければならない科目です。

ここに記載されている科目は「保健体育」の教職免許状を取得するために履修しなければならない科目です。この科目は全てスポーツ科学科と健康学科の開講科目であり、卒業所要単位としてもカウントできます。

なお以下の科目のうち所属学科で開講されている科目は、卒業所要単位としてカウントできます。

		配当学年 → 単位数 ↓				備 考
		1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目 (10単位)	教育原理	2	—	—	—	必修 10単位
	教職概論	2	—	—	—	
	学校経営論	2	—	—	—	
	教育心理学	2	—	—	—	
	特別支援教育論	2	—	—	—	
道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目 (12単位)	道徳の理論及び指導法	2	—	—	—	必修 12単位
	総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成	2	—	—	—	
	特別活動の指導法	2	—	—	—	
	教育課程及び教育方法の理論と実践	2	—	—	—	
	生徒・進路指導論	2	—	—	—	
教育実践に関する科目 (7単位)	教育実習	4	—	—	—	必修 7単位
	事前事後指導	1	—	—	—	
	教職実践演習(中・高)	2	—	—	—	

その他教職免許状取得に必要な科目は以下の通りです。この科目は全てスポーツ科学科と健康学科の卒業所要単位としてもカウントできます。
スポーツマネジメント学科は※を全て取得すること。

		配当学年 → 単位数 ↓				備 考
		1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	日本国憲法	2	—	—	—	必修
体育	陸上運動	1	—	—	—	選択必修 2単位
	水泳	1	—	—	—	
	器械運動	1	—	—	—	
外国語コミュニケーション	Oral English I	通2	—	—	—	選択必修 2単位
	Oral English II	通2	—	—	—	
情報機器の操作	コンピュータ実習	2	—	—	—	必修

【原則】 1. 実習前に教職概論, 教育原理, 教育心理学, 保健体育科教育法Ⅰ, 保健体育科教育法Ⅱを履修・単位修得していること。
2. 2年次終了までに履修する事ができる「教育の基礎的理解に関する科目」(14単位分), 「教科及び教科の指導法に関する科目」(23単位分), 「その他の科目」(8単位分)の計45単位のうち, 30単位以上を履修・単位取得していること。

通: 通年科目
無印: 半期科目
集: 集中科目

		配当学年 → 単位数 ↓				備 考	
		1年	2年	3年	4年		
体育実技 (9単位)	陸上運動	1	—	—	—	必修 5単位	
	水泳	1	—	—	—		
	器械運動	1	—	—	—		
	柔道Ⅰ・剣道Ⅰ	1	—	—	—		
	ダンス	1	—	—	—		
	サッカー	1	—	—	—		選択必修 3単位 異なった区分から選択
	バスケットボール	1	—	—	—		
	ハンドボール	1	—	—	—		
	バレーボール	1	—	—	—		
	テニス	1	—	—	—		必修
ソフトボール	1	—	—	—			
体づくり運動	1	—	—	—	必修		
[体育原理, 教育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史]及び運動学(運動方法学を含む)(6単位)	体育原理	2	—	—	—	選択必修 4単位	
	スポーツ心理学	2	—	—	—		
	学校体育経営管理学	2	—	—	—		
	スポーツ社会学	2	—	—	—		
	スポーツ運動学	2	—	—	—		選択必修 2単位
スポーツコーチング総論	2	—	—	—			
生理学(運動生理学を含む)(4単位)	生理学 運動生理学Ⅰ	2 2	—	—	—	必修 4単位	
衛生学及び公衆衛生学(2単位)	衛生・公衆衛生学総論	2	—	—	—	必修 2単位	
学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む)(2単位)	学校保健学	2	—	—	—	必修 2単位	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)(8単位)	保健体育科教育法Ⅰ	2	—	—	—	必修 8単位	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	—	—	—		
	保健体育科教育法Ⅲ	2	—	—	—		
	保健体育科教育法Ⅳ	2	—	—	—		

介護等体験

小学校・中学校の教職免許状の取得にあたっては, 介護等体験を実施しなければなりません。

本学では原則として, 社会福祉施設での体験(5日間)を2年次, 特別支援学校での体験(印旛特別支援学校にて2日間)を3年次に行うようにしています。

資格取得に関する科目 (2) (2022年度3年生用)

「養護教諭1種免許」

教育の基礎的理解に関する科目等 (養護教諭1種免許)

(29単位必修)

この免許は「健康学科」の学生が対象で、免許状を取得するために履修しなければならない科目です。学科開講科目に表示されている科目は、卒業所要単位としてカウントできます。

		配当学年 → 単位数 ↓	1年	2年	3年	4年	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	—	—	—	—	必修 29単位
	教職概論	2	—	—	—	—	
	学校経営論	2	—	—	—	—	
	教育心理学	2	—	—	—	—	
	特別支援教育論	2	—	—	—	—	
道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	—	—	—	—	
	総合的な学習の時間の内容と教育課程の編成	2	—	—	—	—	
	特別活動の指導法	2	—	—	—	—	
	教育課程及び教育方法の理論と実践	2	—	—	—	—	
	生徒・進路指導論	2	—	—	—	—	
教育実践に関する科目	養護実習	4	—	—	—	—	
	養護実習事前事後指導	1	—	—	—	—	
	教職実践演習(養護教諭)	2	—	—	—	—	

その他教職免許状取得に必要な科目は以下の通りです。この科目は全て卒業所要単位としてもカウントできます。

		配当学年 → 単位数 ↓	1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	日本国憲法	2	—	—	—	—	必修
体育	陸上運動	1	—	—	—	—	選択必修 2単位
	水泳	1	—	—	—	—	
	器械運動	1	—	—	—	—	
外国語コミュニケーション	Oral English I	通2	—	—	—	—	選択必修 2単位
	Oral English II	通2	—	—	—	—	
情報機器の操作	コンピュータ実習	2	—	—	—	—	必修

特別支援学校1種免許

(27単位必修)

		配当学年 → 単位数 ↓	1年	2年	3年	4年	備考
障害者教育総論		2	—	—	—	—	必修 27単位
知的障害者の心理		2	—	—	—	—	
肢体不自由者の心理		2	—	—	—	—	
病弱者の看護		2	—	—	—	—	
障害者の病理と生理		2	—	—	—	—	
障害者の進路支援		2	—	—	—	—	
知的障害者指導法		2	—	—	—	—	
肢体不自由者指導法		2	—	—	—	—	
病弱者指導法		2	—	—	—	—	
視覚障害者の教育		2	—	—	—	—	
聴覚障害者の教育		2	—	—	—	—	
発達障害と重度・重複障害者の教育		2	—	—	—	—	
特別支援教育実習		3	—	—	—	—	

養護に関する科目 (養護教諭1種免許)

(32単位必修)

この科目は全て健康学科の開講科目であり、卒業所要単位としてカウントできます。

		配当学年 → 単位数 ↓	1年	2年	3年	4年	備考
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む)	衛生・公衆衛生学総論	2	—	—	—	—	必修 32単位
	環境衛生学	2	—	—	—	—	
学校保健	学校保健学	2	—	—	—	—	
養護概説	養護概説	2	—	—	—	—	
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健康相談	2	—	—	—	—	
栄養学 (食品学を含む)	健康栄養論	2	—	—	—	—	
解剖学及び生理学	機能解剖学	2	—	—	—	—	
	生理学	2	—	—	—	—	
微生物学,免疫学,薬理概論	免疫学概論	2	—	—	—	—	
精神保健	精神保健学 I	2	—	—	—	—	
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む)	看護の基礎	2	—	—	—	—	
	看護学概説	2	—	—	—	—	
	医学概論	2	—	—	—	—	
	精神医学 I	2	—	—	—	—	
	看護学基礎演習	2	—	—	—	—	
	看護学実習	2	—	—	—	—	

【原則】 実習前に教職概論, 教育原理, 生徒・進路指導論, 衛生・公衆衛生学総論, 学校保健学, 養護概説, 健康相談, 精神保健学 I, 看護の基礎, 医学概論, 看護学概説, 看護学基礎演習, 看護学実習の科目を履修していること。(計26単位)

「保健体育」の教職免許状を基礎免許とし,更に左記の科目を履修することによって取得することができます。ここに記載されている科目は健康学科の開講科目であり,健康学科は卒業所要単位としてもカウントできます。(特別支援教育実習は除く)
注) スポーツ科学科とスポーツマネジメント学科は卒業所要単位以外に上積みで履修しなければなりません。

【原則】 1. 実習前に3年次の基礎免許 (保健体育) の実習を修了していること。
2. 実習前に障害者教育総論, 障害者の病理と生理, 知的障害者の心理, 肢体不自由者の心理を履修し, さらに障害者指導法 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者) に関する科目をすべて履修していること。

資格取得に関する科目 (3) (2022年度3年生用)

以下に記載の各種資格に関する科目のうち、*の科目以外は卒業所要単位としてカウントすることができます。

精神保健福祉士

この資格は下記の所要科目を履修することにより、受験資格を得ることができます。

法律指定科目	本学開講科目	単位	学年	備考
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ	2	2	必修
	精神医学Ⅱ	2	2	
精神保健の課題と支援	精神保健学Ⅰ	2	1	
	精神保健学Ⅱ	2	1	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	通4	3	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2	2	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉制度論	通4	2	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論	2	3	
現代社会と福祉	社会福祉論Ⅰ	2	1	
	社会福祉論Ⅱ	2	1	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2	2	
	地域福祉論Ⅱ	2	2	
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	ソーシャルワーク論	2	2	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神保健福祉援助技術総論	2	2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉援助技術各論	通4	3	
精神保健福祉援助演習(基礎)	ソーシャルワーク演習	1	2	
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習	2	3.4	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	3	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	4	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	4	3.4	
人体の構造と機能および疾病	医学概論	2	3	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2	
	社会保障論Ⅱ	2	2	
低所得に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2	2	
保健医療サービス	保健医療サービス	2	3	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	4	
福祉行政と福祉計画	福祉行政と福祉計画	2	4	

健康運動指導士

この資格は下記の所要科目を履修することにより、受験資格を得ることができます。

科目名	単位	学年	備考
スポーツと栄養	2	1	必修
健康運動指導論	2	3	
健康運動指導実習	2	3	
健康教育学	2	1	
精神保健学Ⅰ	2	1	
運動生理学Ⅰ	2	2	
運動生理学Ⅱ	2	3	
スポーツバイオメカニクス	2	3	
体力トレーニング論(含実習)	3	1	
機能解剖学	2	1	
体力の測定と評価	2	3	
スポーツ外傷・障害学	2	1	
スポーツ医学(内科系)	2	2	
スポーツ外傷・障害の予防とリハビリテーション実習	2	2	
エアロビックダンスエクササイズ	1	3	
水泳	1	1	
陸上運動	1	2	
体づくり運動	1	1	
運動処方演習	2	4	
測定と評価実習	2	3	
老化と運動	2	2	
医学概論	2	3	
リハビリテーション概論	2	2	
精神保健学Ⅱ	2	1	
健康産業施設実習(7日間)*	—	3.4	

JSPO公認スポーツ指導者

●JSPO公認スポーツ指導者資格取得に必要な科目には、「共通科目」と「専門科目」の2種類があります。●記載の科目の単位を取得し、卒業時に修了証の発行申請を行なうことで、JSPOの講習会及び試験(一部)が免除されます。●専門科目については、共通科目の修了証と併せて申請しなければなりません(共通科目+専門科目の単位取得が必要)。希望する専門科目コースの「必要共通科目」欄に記載されている共通科目も併せて履修し、必要な単位を取得してください。

[1] 共通科目(講習・試験免除)

共通科目コース名(競技別指導者資格)	科目名	単位数	配当学年	必修/選択必修	
Ⅰ (コーチ1)	Ⅰ・Ⅱ (コーチ2) Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (コーチ3)	1) スポーツ指導者に必要な医学的知識	2	1	必修
		2) スポーツトレーニング総論	2	2	
		3) 発育発達	2	2	
		4) スポーツ社会学	2	2	
		5) 生涯スポーツ論	2	2	
		6) スポーツコーチング総論	2	3	
		7) スポーツ心理学	2	2	
		8) 運動生理学Ⅱ	2	3	

[2] 専門科目(講習免除)

専門科目コース名	必要共通科目	科目名	単位数	配当学年	必修/選択必修
アスレティックトレーナー	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1) 体力トレーニング論(含実習)	3	1	必修
		2) 機能解剖学実習	2	1	
		3) スポーツ外傷・障害学	2	1	
		4) スポーツ医学(内科系)	2	2	
		5) テーピング及びマッサージ実習	2	2	
		6) スポーツ外傷・傷害の予防とリハビリテーション実習	2	2	
		7) アスレティックトレーナー一般論	2	2	
		8) コンディショニング概論	2	2	
		9) アスレティックリハビリテーション	2	2	
		10) 体力の測定と評価	2	3	
		11) スポーツ医学(運動器系)	2	3	
		12) 救急法実習	2	3	
		13) アスレティックトレーナーに必要な検査・測定、評価	2	3	
		14) アスレティックトレーナー現場実習*	対象外	2回以上	
		15) スポーツと栄養	2	1	
		16) 栄養・生化学実験実習	2	2	
		17) 運動生化学	2	3	
		18) 精神保健学Ⅰ	2	1	
		19) スポーツ心理学実験実習	2	3	
		20) 運動生理学Ⅰ	2	2	
		21) 運動生理学実験実習	2	3	
		22) スポーツ競技の生理学	2	3	
		23) スポーツバイオメカニクス	2	3	
		24) スポーツバイオメカニクス実験実習	2	3	
エアロビックコーチⅠ	Ⅰ	1) ダンス	1	1	必修
		2) エアロビックダンスエクササイズ	1	3	
		3) 教育実習	4	3	
		4) 事前事後指導	1	3	
水泳コーチⅠ	Ⅰ	1) 水泳	1	1	必修
		2) 専門運動実技実習(水泳競技)	2	3	
		3) 水泳競技のコーチング論	2	3	
水泳コーチ3※	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1) 水泳	1	1	必修
		2) 専門運動実技実習(水泳競技)	2	3	
		3) 水泳競技のコーチング論	2	3	
		4) 海浜実習	1	1	
		5) 救急法実習	2	3	
水泳教師	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1) 水泳	1	1	必修
		2) 海浜実習	1	1	
		3) 専門運動実技実習(水泳競技)	2	3	
		4) 教育実習	4	3	
		5) 事前事後指導	1	3	
		6) 水泳部実績2年間以上*	対象外	—	
ジュニアスポーツ指導員	Ⅰ	1) 体づくり運動	1	1	必修
		2) スポーツ心理学(共通科目Ⅱ指定科目兼用)	2	2	
		3) 体力の測定と評価	2	3	
		4) レクリエーションスポーツ	1	3	
		5) 教育実習	4	3	
		6) 事前事後指導	1	3	

*水泳コーチ3の必要科目は、2022年4月現在JSPOへ変更申請中です。既に海浜実習の単位を取得済の場合は、新たに救急法実習を履修する必要はありません。

公認初級障がい者スポーツ指導員

この資格は下記の所要科目を履修することにより、資格取得ができます。

科目名	単位	学年	備考
障害者教育総論	2	2	必修
肢体不自由者の心理	2	2	
障害者の進路支援	2	2	
学校保健学	2	2	
体づくり運動	1	1	
介護等体験(又は担当教員が指定するボランティア活動等)*	—	2.3	

衛生管理者免許(1種)

この資格は「健康学科」の学生が対象で、下記の条件を満たすことが必要です。

- ①健康学科の卒業所要単位(124単位)の履修。
- ②下記科目の履修。

科目名	単位	学年	備考
環境衛生学	2	3	必修
環境衛生学実習	2	3	
労働基準法	2	4	
スポーツ外傷・障害学	2	1	
生理学	2	1	
運動生理学Ⅰ	2	2	